

正しい情報を見分ける力を付けましょう

インターネット上の情報には、偽物や誤っているものが存在しています。

例1 混乱させることを目的として作られた**悪意のある偽の情報**

例2 悪意はないけど、勘違いや誤解から生まれた**誤った情報**

情報を受け取る人が見えている部分

◇◇動物園を炎上させてやる!

記事を投稿

ライバルの△△動物園の社長

Fantastic fake show
【速報】
市内◇◇動物園からマンモスが10匹逃走!
気をつけて!!

ウワサ話だけど、みんなに教えよう

動画を投稿

このマスクで万病が防げる!?

FACT

動画の投稿者

それでは、情報を受け取った人が取るべき行動はどちらでしょうか?

情報が正しいかどうかはわからない**けど**

大ニュースだ! とりあえず拡散!

市内の人、避難して!
◇◇動物園は管理不徹底だ!

どんな病気も防ぐマスク!
みんなも買って健康になろう!

情報が正しいかどうかはわからない**から**

情報が正しいか調べてみる

◇◇動物園は発表している?
ホームページを見てみよう

マスクだけで病気が防げる?
根拠があるか調べてみよう

情報を信じたり、拡散したりする前に、まずは確かめよう!

偽物の情報を投稿・拡散した結果、誰かを傷つけたり、社会的混乱を招いたりした場合、民事上・刑事上の責任が問われることがあります。

実際に責任を問われた事例

- あおり運転の犯人の同乗者として、全く別人の個人情報がインターネット上に拡散され、誹謗中傷の的にされた
⇒被害者が拡散した人を民事提訴した結果、裁判所は拡散した人に対し賠償金を支払うように命じた
- 地震の直後、動物園からライオンが逃げていると偽の情報をSNSに投稿し、動物園の職員が対応に追われた
⇒偽の情報をSNSに投稿した人が業務妨害で逮捕された

SNSなどで「これは誰かに教えなきゃ」という情報を見ても、すぐに信じたり、拡散したりする前に一旦落ち着いてください。そして、「この情報は正しいのだろうか」「拡散した結果どうなるだろうか」と考えるようにしましょう。

CHECK!! 偽物の情報を見分けるためにしてほしいこと

- インターネットで検索する、文献や新聞などで調べるなど、複数のほかの情報と比べる
- 情報が掲載されたWebサイトや発信した人が、信頼できるかどうかを確認する
- 最新の情報とは異なっている場合があるので、投稿時期を確認する
- 情報が引用されたものや、ウワサ話などの伝聞だった場合は、情報源を確かめる

家族に迷惑がかかるかも?

あなたが興味のある情報だけが表示されているかも?

インターネット上では、検索しているワードやSNSのフォロー内容、どんな投稿に「いいね」をしているかなどといった情報が分析され、利用者一人一人の興味のある情報を優先して表示するアルゴリズムが働いています。

アルゴリズムによって興味のある情報ばかり目にしてしまうと、視野が狭くなって、その情報が世の中の常識だと誤解してしまう可能性があります(この現象のことを「フィルターバブル」と呼びます。)

普段見かける情報は、もしかしたら調整されているかもしれないと意識し、偽物の情報にだまされないようにしましょう。